

市の考えを問う 一般質問

3月13日・14日・18日の3日間行われた一般質問の主な質問(Q)と答弁(A)の概要を掲載します。



内野 嘉広 議員

健康寿命延伸に向けた取り組み

笑顔で楽しい健康づくり

Q A

質問一 いじめ防止対策を法制化することについて。

二 体罰についての本市の状況は。

三 教育委員会制度の抜本的見直しについて。

四 6・3・3・4制の学制の見直しについて。

答弁一(教育委員長) いじめの早期発見、早期対応を図るために組織的に取り組み、また警察との連携も視野に入れて対応している。法制化については、国の動向を注視する。

二 体罰による教職員事故の報告はない。今後も教職員事故を防止するため、各学校に対して報告、連絡、相談体制の整備や指導の徹底を図り、児童生徒、保護者からの情報収集を行っていく。

三 教育再生実行会議を中心とした国の動向に注視しながら、教育委員会の活性化を図るため、教育

委員会会議の持ち方の改善や教育委員及び教育委員会事務局の活動の充実に努める。

四 教育再生実行会議での議論が予定されている。議論の推移を注視しつつ、鶴ヶ島型の小中一貫教育をさらに進めていく。

◎その他の質問 土地開発公社経営健全化事業後の在り方について

質問一 健康寿命と平均寿命の差についての今後の対策は。

二 ロコモシンドローム(運動器症候群)の認知度を高めるための今後の対策は。

三 元気な高齢者づくりに向けた社会参加の機会、環境の整備について。

四 子どもの健康づくりについての市の取り組みは。

五 健康日本21を踏まえた健康づくり、介護予防の取り組みは。

答弁一(市長) 健康寿命を第5次総合計画の指標として位置付け、市民誰もが笑顔で楽しく健康づくりに取り組めるまちを目指す。

二 あらゆる機会を通じて、理解を深める啓発活動を進める。

三 ニュースポーツの普及、育成に努め、また公民館では高齢者学級やリハビリ交流事業を行うなど、環境整備や社会参加の機会の拡大を図る。

四 教育委員会や学校と連携を密にして推進する。

五 健康づくり施策の一層の連携強化を進める。

◎その他の質問
一 つるバス・つるワゴンの運行について
二 次世代エネルギーを活用したまちづくりについて

Q 教育再生について

A 信頼される学校づくりに努める

金泉婦貴子 議員



東公民館での「はつらつ元気体操クラブ」